

# 学位プログラム「歯学」カリキュラムマップ

## 教育の目的 Educational aims

多様な歯科疾患の分子基盤の確立、および口腔から全身疾患を克服するための口腔保健医療体系構築に貢献する指導的人材の養成を目的とする。すなわち、歯学およびこれに関連する医学または自然科学の分野において、高度な学術情報を発信する指導的研究者、歯学の真髄を教授する教育者、国際連携の推進者、歯科医療または口腔保健行政の指導者等になりえる人材を育成する。

低年次総合カリキュラム  
(共通選択科目) (8)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野必修) (4)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野選択必修) (12)

高年次専門カリキュラム  
(専門分野必修) (6)

到達目標 Learning Outcomes (Graduate Attribute Profiles)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>A. 知識・理解 Knowledge and understanding</b>								
歯学およびこれに関連する医学または自然科学研究の基盤となる研究対象および研究方法を説明できる。(低年次総合カリキュラム)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)							
専攻分野の研究対象のひとつの領域、あるいはこれを横断的に俯瞰した領域群を説明できる。(専攻分野コアカリキュラム)	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
自らが行なう歯学およびこれに関連する医学または自然科学研究の研究対象および研究方法を詳説できる。(高年次専門カリキュラム)					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
<b>B. 技能 Skills and other attributes</b>								
<b>1 専門的能力 Technical (Intellectual and Practical) Skills</b>								
専攻分野の研究対象のひとつの領域、あるいはこれを横断的に俯瞰した領域群の研究、実験、あるいは情報処理を確実に実施できる。(専攻分野コアカリキュラム)	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
国内外の学会あるいは研究会で、正しく自分の考えを表現することができる(英語を表現の手段にすることができる)。(すべて)	統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯学およびこれに関連する医学または自然科学の論理的思考能力を基盤に、新たな発見、技術開発、および研究分野への活用ができる。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、実験動物学(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
<b>B. 技能 Skills and other attributes</b>								
<b>2 汎用的能力 Transferable Skills</b>								
歯学およびこれに関連する医学または自然科学研究の基盤となる研究、実験、あるいは情報処理を確実に実施できる。(低年次総合カリキュラム)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、実験動物学(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	統合歯科学特論(4)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
表現能力(自分の意見を明確に述べる能力)とコミュニケーション能力(討論能力、他分野を理解する能力、語学)を鍛え、他の領域と交流する視点を養う。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
高度に専門的な知識の統合的把握をする能力を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯学およびこれに関連する医学または自然科学の、研究方法と論理的思考を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			

# 学位プログラム「歯学」カリキュラムマップ

## 教育の目的 Educational aims

多様な歯科疾患の分子基盤の確立、および口腔から全身疾患を克服するための口腔保健医療体系構築に貢献する指導的人材の養成を目的とする。すなわち、歯学およびこれに関連する医学または自然科学の分野において、高度な学術情報を発信する指導的研究者、歯学の真髄を教授する教育者、国際連携の推進者、歯科医療または口腔保健行政の指導者等になりえる人材を育成する。

低年次総合カリキュラム  
(共通選択科目)(8)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野必修)(4)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野選択必修)(12)

高年次専門カリキュラム  
(専門分野必修)(6)

到達目標 Learning Outcomes (Graduate Attribute Profiles)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
研究における問題を解析し、それを解決するための方法を考案し、実行する能力を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
研究成果を論理的記述し、出版する。(高年次専門カリキュラム)					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
<b>C. 態度・指向性 Valuing and Quality of Mind</b>								
進んで課題に取り組む積極性を持つ。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
周囲と、あるいはチームで協力して問題解決しようとする協調性を備える。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯学およびこれに関連する医学または自然科学研究チームの一員として、自らの知識・技能を活用し、自然科学の発展に貢献する。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯科医療・医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域の保健・利用・福祉・介護および行政と連携協力し、地域医療の向上に貢献する。	統合歯科学特論(4) 口腔ケアと先端技術(2)、統合歯科学特別研究(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			

# 学位プログラム「臨床歯学」カリキュラムマップ

## 教育の目的 Educational aims

口腔から全身疾患を克服するための口腔保健医療体系構築に貢献する指導的人材の養成を目的とする。すなわち、臨床歯学およびこれに関連する医学の分野において、豊かな科学性と論理性を備えた指導的臨床医、国際連携の推進者、歯科医療または口腔保健行政の指導者等になりえる人材を育成する。

低年次総合カリキュラム (共通選択科目)(8)	専攻分野コアカリキュラム (専門分野必修)(4)	専攻分野コアカリキュラム (専門分野選択必修)(12)	高年次専門カリキュラム (専門分野必修)(6)
----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------

到達目標 Learning Outcomes (Graduate Attribute Profiles)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>A. 知識・理解 Knowledge and understanding</b>								
歯学およびこれに関連する医学または自然科学研究の基盤となる研究対象および研究方法を説明できる。(低年次総合カリキュラム)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)							
専攻分野の研究対象のひとつの領域、あるいはこれを横断的に俯瞰した領域群を説明できる。(専攻分野コアカリキュラム)	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
自らが行なう歯学およびこれに関連する医学研究の研究対象および研究方法を詳説できる。(高年次専門カリキュラム)					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
<b>B. 技能 Skills and other attributes</b>								
<b>1 専門的能力 Technical (Intellectual and Practical) Skills</b>								
専攻分野の臨床能力を向上させ、専門に診療できる能力を獲得する。(専攻分野コアカリキュラム)	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
専攻分野の研究対象のひとつの領域、あるいはこれを横断的に俯瞰した領域群の臨床研究、実験を確実に実施できる。あるいは経験した複数の症例の情報を適切に処理し、解析することができる。(専攻分野コアカリキュラム)	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
国内外の学会あるいは研究会で、正しく自分の考えを表現することができる(英語を表現の手段にすることができる)。(すべて)	統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯学およびこれに関連する医学の論理的思考能力を基盤に、臨床での新たな発見、技術開発、および研究分野への活用ができる。(すべて)	統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
<b>B. 技能 Skills and other attributes</b>								
<b>2 汎用的能力 Transferable Skills</b>								
歯学およびこれに関連する医学研究の基盤となる実験、あるいは情報処理を確実に実施できる。(低年次総合カリキュラム)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、実験動物学(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
歯学およびこれに関連する医学研究の基盤となる臨床研究を確実に実施できる。(低年次総合カリキュラム)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、実験動物学(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
表現能力(自分の意見を明確に述べる能力)とコミュニケーション能力(討論能力、他分野を理解する能力、語学)を鍛え、他の領域と交流する視点を養う。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
歯学およびこれに関連する医学全般と、専攻分野の内容を高度に理解し、学問固有の思考を獲得する。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			
高度に専門的な知識の統合的把握をする能力を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			



# 学位プログラム「臨床歯学」カリキュラムマップ

## 教育の目的 Educational aims

口腔から全身疾患を克服するための口腔保健医療体系構築に貢献する指導的人材の養成を目的とする。すなわち、臨床歯学およびこれに関連する医学の分野において、豊かな科学性と論理性を備えた指導的臨床医、国際連携の推進者、歯科医療または口腔保健行政の指導者等になりえる人材を育成する。

低年次総合カリキュラム  
(共通選択科目)(8)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野必修)(4)

専攻分野コアカリキュラム  
(専門分野選択必修)(12)

高年次専門カリキュラム  
(専門分野必修)(6)

到達目標 Learning Outcomes (Graduate Attribute Profiles)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
歯学およびこれに関連する医学または自然科学の、研究方法と論理的思考を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
研究における問題を解析し、それを解決するための方法を考案し、実行する能力を身につける。(すべて)	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
研究成果を論理的記述し、出版する。(高年次専門カリキュラム)							口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
C. 態度・指向性 Valuing and Quality of Mind								
指導的臨床医として進んで課題に取り組む積極性を持つ。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
周囲と、あるいはチームで協力して問題解決しようとする協調性を備える。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
患者の訴えを共感的に傾聴し、患者に分かりやすい説明により、適切な informed decision を形成する歯科医療を実践する。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
常に最新の歯科医療技術および知識を探索し、批判的に吟味し、新たな専門的知識・技術を身につけ、可能な限りエビデンスに基づいた歯科医療を生涯にわたり実践する。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	
歯学およびこれに関連する医学診療チームの一員として、自らの知識・技能を活用し、自然科学の発展に貢献する。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)		口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)		各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)		口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)	

# 学位プログラム「臨床歯学」カリキュラムマップ

教育の目的 Educational aims

口腔から全身疾患を克服するための口腔保健医療体系構築に貢献する指導的人材の養成を目的とする。すなわち、臨床歯学およびこれに関連する医学の分野において、豊かな科学性と論理性を備えた指導的臨床医、国際連携の推進者、歯科医療または口腔保健行政の指導者等になりえる人材を育成する。

低年次総合カリキュラム (共通選択科目)(8)	専攻分野コアカリキュラム (専門分野必修)(4)	専攻分野コアカリキュラム (専門分野選択必修)(12)	高年次専門カリキュラム (専門分野必修)(6)
----------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------

到達目標 Learning Outcomes (Graduate Attribute Profiles)	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
歯科医療・医療を巡る社会経済的動向を把握し、地域の保健・利用・福祉・介護および行政と連携協力し、地域医療の向上に貢献する。	イメージングの理論と実際(3)、電気生理学実験法(2)、細胞生物学特論(2)、口腔微生物学特別講義(2)、実験動物学(2)、統合歯科学特論(4)、細胞の仕組み(2)、口腔ケアと先端技術(2)、硬組織研究法(3)、臨床病理学(2)、細胞培養の理論と応用(2)、統合歯科学特別研究(4)、医療コンテンツの作成と応用(4)							
	口腔常態制御学研究入門(4)、口腔保健推進学研究入門(4)、口腔機能修復学研究入門(4)、口腔顎顔面病態学研究入門(4)、全身管理歯科学研究入門(4)、総合歯科学研究入門(4)、口腔保健開発学研究入門(4)、口腔生体応答学研究入門(4)							
	各専攻分野コアカリキュラム選択必修講義、演習、実習(12)							
					口腔常態制御学特論(6)、口腔保健推進学特論(6)、口腔機能修復学特論(6)、口腔顎顔面病態学特論(6)、全身管理歯科学特論(6)、総合歯科学特論(6)、口腔保健開発学特論(6)、口腔生体応答学特論(6)			